



Vol.276

里山クラブ可児

2023年8月1日発行
発行所：里山クラブ可児
発行人：堤 喜治
編集人：柿元 章吾

水プロ | 7月5日 | 参加者：14名

薄曇りの活動日。この日は、名城大学の里山現地授業。先生含め7名が参加。見学の方2名と賑やかな水プロとなりました。

名城大は里山の植物と土壌観察。植物観察は会員の今泉さんが先生を務めました。土壌観察は、小池先生。



▲土壌の観察をする学生と植物講師の今泉会員



▲大鹿新道の土木工事

▲草刈りと水路補修

メインの作業は、棚田周辺の草刈りと棚田水路の整備です。果樹園奥の間伐から始まった整備が、新たな遊歩道へと発展を遂げています。大鹿棟梁に脱帽しかありません。また、久々参加の日比野さんの体験を兼ねて薪割りも行いました。

第一水曜日は、オカリナの会の活動日です。練習終盤、先生のオカリナとギター、ジャンベで音合わせを行いました。今日の見学の方は、園芸士とプロのオーガニック農家の方でした。多士済々が集まる我田の森です。



▲女性会員と見学の方

▲オカリナ、ギター、ジェンベ

水プロ | 7月12日 | 参加者：14名

午後からは雨予報だが、梅雨末期の晴れ間で蒸し暑い気温も高い。

作業は、引き続き田んぼの草取りと田んぼ周辺の草取りです。田んぼの草取り機は試作をへて合計5台が今回本格稼働。午前中5人で4枚の草取りを完了。効率は非常に良い。また、田んぼの攪拌になるし、杖としても機能するすぐれものです。



▲草取り方法を指導する

▲棚田での作業風景



▲早くも花が咲いた稲の穂

午後からは、新遊歩道の土木工事やイベント準備で、サカキのメダル作りを行いました。

また、本日も春日井から見学者が訪れてくれました。作業見学だけでなく、実際にお手伝いもしていただき、最後は我田の大岩まで遊歩道を周遊されました。

夢工房の巣箱では、シジュウガラの幼鳥が巣立ちを始めています。森のデッキのエノキにはタマムシがやってきました。森は、着実に季節が移ろっています。



▲タマムシが乱舞

▲間もなく巣立つシジュウガラ

例会 | 7月16日 | 参加者：15名

早くも梅雨明けか？ 夏空が広がった里山は、気温もぐんぐん上昇、湿度も高く、風少なく。最悪コンディションでした。

しかし、芝生広場の整備。雨で掘られた林道の修復。そして、いよいよ、上の駐車場脇にある根本が腐り倒れる可能性のあるアベマキの高木の伐倒作業が始まりました。



▲日曜日なので子供達もお手伝い



▲掘れた轍に石を敷き詰める



▲流れ出た砂利を回収



▲伐倒する大木にお清めの塩と御神酒を撒き、作業の安全祈願をしました



▲伐倒により周辺に被害が出ない様、高所の枝払いから始まります

水プロ | 7月19日 | 参加者：9名

この日も暑かったです。午後雨になり早めに終了しました。

暑さで敬遠されるのか、いつも戦力になっている女性会員の参加がありませんでした。

活動内容は、棚田（最下段）の草取りと、前回例会の伐倒材の整理を行いました。



▲棚田最下段の草取り作業



▲伐倒材の整理を行う

例会 | 7月23日 | 参加者：20名

天気はいよいよ梅雨明けで快晴でした。久しぶりに4月から社会人になった女性会員が遠方から来てくれました。また、地方に移住し里山活動に従事している女性会員の元気な姿（鹿解体中）も拝見できました。会員から大きなスイカの差し入れがあり、皆で味わいました。

活動内容は、危険木の伐採、枝葉のチップ処理。伐採木の切断面を見たら2m上まで芯に虫食いが進行していました。



▲枝葉のチップ処理作業

8月11日開催の「森の学校(夏)」の昼食&演奏会場の整備を行いました。

また、8月6日の竹細工(カエル)用の真竹採取。また、引き続き進入路の凹凸修復を行いました。



▲イベント会場の整備作業



▲伐倒木の玉切り処理



▲玉切りからの薪割り



▲倒壊の危険のあるアベマキ



▲20mのアベマキが倒れる瞬間



▲会員の知り合いから譲り受けた白と杓

水プロ | 7月26日 | 参加者：12名

最高気温 39 度にもなろうかという猛暑の中、12 名もの猛者たちが集合しました。

倒壊危険のアベマキ処理を引き続き行い、伐倒は完了しました。合計 4 本のアベマキを処理しました。樹高はおよそ 20m、幹周りは最も大きな樹で 2m にもなりました。そのうちの一本は、根本から 2m のところまで芯がカミキリムシにより穴が開けられ危険な状態でした。



▲本日の作業前



▲本日の作業後

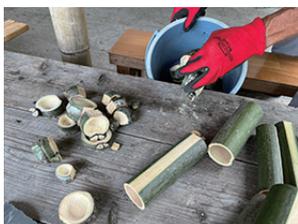


▲芯が虫食い被害にあった幹周り 2m のアベマキ

ともあれ、これだけの伐倒を事故なく安全に終わることができました。これも高いスキルを持った丸山会員のおかげです。ありがとうございました。

とにかく、この場所は駐車場沿いで、こどもの庭の園児たちもよく遊ぶ場所です。おりしも、作業後の夕刻に雷と突風がこの地方に発生しました。未然に、事故につながる危険を除去できました。

伐倒作業以外のメンバーは、イベントの材料作りにも汗を流しました。



▲竹ガエルの材料作り



▲森のメダルの仕上げ作業



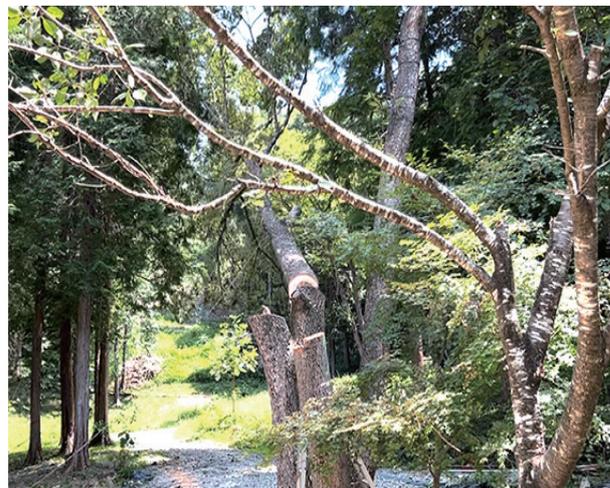
▲枝払いの高所作業



▲慎重に受け口を作る



▲女性会員もチップパー処理作業に参加



▲メリメリ!と、倒れる瞬間



▲絶妙な受け口を作り安全に伐倒



▲伐倒作業終了、お疲れ様でした!

■令和5年7月度の我田の森への入山人数

1. 里山クラブ可児会員・・・・・・・・・・・・・・・・・・84人（累積：429人）
2. 自然育児こどもの庭（親子）・・・・・・・・・・・・・・・・・・115人（累積：640人）
3. 講座（なし）・・・・・・・・・・・・・・・・・・0人（累積：61人）
4. 行事（なし）・・・・・・・・・・・・・・・・・・0人（累積：34人）
5. 外部団体（オカリナ森のハーモニー・名城大学）・・・・・・・・・・16人（累積：55人）
6. 見学者等・・・・・・・・・・・・・・・・・・10人（累積：30人）

■令和5年8月度の活動予定

令和5年度の累積入山人数：1,249人

1. 例会：20日（日）、27日（日）
遊歩道及び栗林斜面等の草刈り、薪作り他
2. 水プロ：2日（水）、9日（水）、16日（水）、23日（水）、30日（水）
棚田周辺の草刈り・草取り、溜池&水路の整備（流入土砂除去）、棚田周囲へのガシガシ侵入防止柵の設置
3. 講座：8月11日（金・祝）森の学校（夏）竹等のクラフト作りと生物観察及びお昼にはキーマカレーを味わう。オカリナの演奏会もあります。
4. 行事：8月6日（日）ささゆりエコ・フェスタ 2023 夏へ竹工作出展